

<ニュースリリース>

2013年5月15日
米国研究製薬工業協会

米国研究製薬工業協会 「革新的な医薬品の価値」に関する調査結果を発表

米国研究製薬工業協会(PhRMA:Pharmaceutical Research and Manufacturers of America、本部:米国、ワシントンDC、以下PhRMA)は、本日のプレスセミナーにおいて、PhRMAが実施した「革新的な医薬品の価値」に関する調査結果について発表し、近年承認された革新的な医薬品は、経済的にも社会的にも日本に大きな効果をもたらしていることを明らかにしました。

本調査は、PhRMAが日本国内の既存データを使用し、過去5年間に承認された176の新薬の中から、5つの慢性疾患領域(糖尿病、慢性閉塞性肺疾患<COPD>、慢性腎疾患、心原性脳梗塞、うつ病)における代表的な治療薬を1剤ずつ選出し実施しました。その結果、これら5剤のみで、1兆3000億円から1兆5000億円の経済的価値をもたらすという試算結果を得ました。これは、5つの疾患領域に費やされている医療費総額の16%に相当し、そのうち8000億円から9500億円は医療費節減による効果で、5000億円から5500億円は生産性向上による効果であると算出されました。

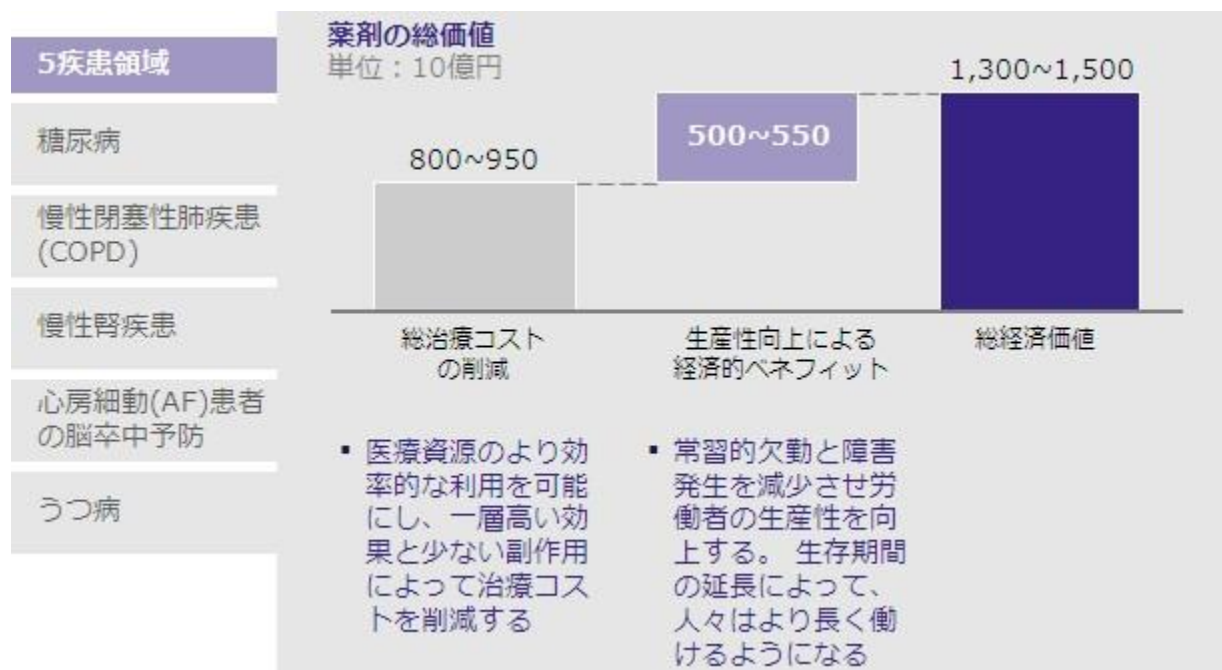
「5つの新薬への投資は医療費節減と経済付加価値上昇に大きな効果をもたらしており、日本政府による製薬分野の改革推進が必要かつ重要であることを示しています。そうした政策の継続により、日本の財政負担が軽減され、医療システムの強化にもつながります。患者さんのQOL(quality of life:生活の質)向上やより長い健康寿命が期待でき、医師は患者さんにより良い治療を施すことができるようになるでしょう。また学術機関や研究団体は、より多くの優れた研究者を雇用し、育成できるようになります。結果として生産性の向上やGDP(国内総生産)の増加、雇用創出を通して日本経済に貢献できると確信しています」と、PhRMA会長のロバート・J・ヒューギンは述べています。

新薬による経済効果や生産性向上など定量的なベネフィットに加えて、数値では表せない患者さんのQOLへの効果も軽視できません。例えば、薬によってうつ病の患者さんの症状が緩和し、日々の社会生活を楽しめるようになったり、糖尿病の患者さんが、薬によってそれまでできなかった日常の活動を行えるようになったりする効果は非常に大きく計り知れません。

本調査結果は、新薬が患者さんにとってメリットがあるだけでなく、多大な経済的利益を創出していることを示しています。PhRMAは、加盟企業が革新的な医薬品を開発し日本の患者さんにより早く届けるためには、新薬の承認審査プロセスや薬価算定、保険償還などの充実と、臨床試験環境の改善が重要な鍵であると考えます。日本政府に協力しながら、先進的で革新的な医薬品を日本の患者さんに迅速に提供できるよう、また、予防医療によって日本のみなさんの健康を促進し政府の医療費節減につながるよう、今後も活動を続けていきます。

【調査結果の一部】

日本で利用可能なデータをもとに「ベスト・イン・クラス」の薬剤を5つ選択
各々の財政的・経済的ベネフィットを数値化



※調査結果は、下記の PhRMA ホームページ(日本語)に掲載しますので、ご参照ください。

● PhRMA Japan

PhRMA Japan は、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて25年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アッヴィ合同会社、アムジェン・デベロップメント株式会社、MSD 株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の10社です。

● 米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する2011年の投資額は約495億ドルで、これは加盟企業総売上高の21.1%にあたります。また、米国におけるR&D投資総額の20%が製薬業界によるものです。

- PhRMA ホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- 米国 PhRMA ホームページ <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】
PhRMA 広報事務局 (MSL Japan 内)
担当: 工藤 / 伊澤 / 池井
Tel: 03-5719-8938 Fax: 03-5719-8919
E-mail: phrma@msljapan.com